

冠婚葬祭



バングラデシュ

BOP実態調査レポート

バングラデシュの主な宗教は4つあり、それぞれに各種の祭礼や儀式が行われている。各宗教に共通の祭礼もあれば、特定の宗教だけのものもある。誕生、結婚、死に関わる祭礼は、各人の宗教に従って、社会にある習慣や儀式を反映しながら、行われている。

祭礼の概要

バングラデシュで行われている祭礼は、ほとんどが家族関連のものである。子どもが誕生した際に行われる儀式は、宗教によって異なる。誕生日は共通であり、誕生を祝いたいすべての人に祝われる。結婚関連の儀式は、非常に刺激的で華やかである。結婚式の主要部分は、宗教的慣習に従って行われる。各宗教に共通した結婚式の前後に行われる儀式も多くある。葬儀や葬儀後の儀式は、宗教的な慣習に従って行われる。主要宗教は、イスラム教、ヒンズー教、キリスト教、仏教である。大半はイスラム教徒であり、仏教徒とキリスト教徒はごく少数である。ヒンズー教は最も歴史の古い宗教であるが、信者の多くがインドに移住したりイスラム教やキリスト教に改宗した。このためヒンズー教の習慣や祭礼が他の宗教の信者の間に今も多く残っている。ヒンズー教は祭礼や儀式の数が非常に多く、その中にはベンガルの文化に強く結びついたものもあり、ベンガルの慣習として他宗教の信者にも行われている。

各宗教で行われる祭礼

■ 誕生と新生児に関わる祭礼

Shadh(ベビーシャワー)

ベンガルの伝統に由来した祭礼で、いかなる宗教の信者でも、家族で妊婦のために行うことができる。妊娠7カ月の時期に行われることが最も多い。一般に、親族の女性や近隣の女性が、妊婦のためにこの祭礼を手配する。各種料理が用意され、小さな子どもが招待される。少なくとも7種の料理と果物が用意され、妊婦は用意されたすべての料理に少しずつ手を付ける。

Akika

Akikaは新生児の命名式である。祭礼の際、イスラム教徒は通常女兒の場合は羊を1頭、男児の場合は羊2頭を解体する。ベンガルの伝統と文化では、子どもの誕生から数週間以内に行われる。生後12日目、この祭礼を行うのに最も縁起の良い日と考えられている。この儀式は通常、聖職者または子どもの祖父母が行う。子どもの健康と幸福を祈る短いお祈りから始まり、宗教的な儀式を行った後、父親か母親が子どもの名前を耳元でささやく。それから、家族や友人、親族に名前を発表する。出席者は子どもの名前を呼んで、家族やコミュニティーに迎え入れる。



Chhoy-shoshthi

ヒンズー教徒の祭礼であるChhoy-shoshthiは、子どもの生後6日目に聖職者と家族の前で行われる命名の儀式である。親族全員が子どもに異なった名前を提案し、提案された名前の数のろうそくが灯され、一番長く灯り続けたろうそくの名前が選ばれる。選ばれた名前は子どもの耳元で告げられ、その後、集まっている家族や友人に披露される。一部のコミュニティーや家族は聖火を灯し、聖職者が賛美歌を唱えて天の神々に子どもへの祝福を求める。

■ 結婚に関する祭礼

婚約

結婚前の儀式は、イスラム教を除く宗教で行われる。キリスト教では、結婚式の数カ月～数週間前に行われる。この儀式で、新郎・新婦がお互いの指に指輪をはめる。その後、両家で会食する。ヒンズー教徒にも同様の儀式があるが新婦を除く家族が新郎を訪問し、新郎側も同様に訪問する。双方の家族がそれぞれ新郎・新婦に贈り物をする。聖職者はいずれの儀式にも参加し、聖職者によって結婚式の最終的な日取りが決められる。

Gaye Holud

結婚前の祭礼であり、すべての宗教の信者にとって必須となっている。Gaye Holudとは、身体にターメリックを塗るという意味である。結婚式の前日に、新郎・新婦別々にそれぞれの親族が行う。ただし、新郎の家族の1人が新婦の元へ、贈り物、菓子、魚、薬草と香辛料を届ける。たいていは自宅で行われるが、余裕がある場合は貸会場を借りてこの儀式を行う人もおり、両家が合同で同じ場所で行う場合もある。通常、新郎新婦は黄色い衣装を着て舞台上に座り、新婦は花飾りを付けることが多い。様々なお菓子やスパイスペーストが、2人の前に並べられる。親族や友人、近所の住民は、黄色やサフラン色の衣装を着て参列する。出席者は1人ずつ新郎・新婦にターメリックなどのペーストを顔や腕に塗る。その後、お菓子を食べる。この儀式は、結婚式の前に新郎・新婦を清めるために行われる。ベンガル文化の中で最もにぎやかで楽しい祭礼の一つであり、飾りや食事、生演奏、ダンスがこの儀式を彩る。



Gaye Holudの儀式

結婚式

結婚式は、おそらく最も費用のかかる祭礼である。結婚式は通常、宗教的な慣習に従って行われる。キリスト教の結婚式は教会で、仏教は寺院で行われる。しかし、ヒンズー教やイスラム教の結婚式は新婦の家で行われる。いずれの宗教の結婚式も、両家の近親者が参列して聖職者が執り行う。



宗教的な慣習に従った結婚式の後、新郎・新婦は貸し会場に移動する。親族や友人・知人が招待される。全員が新郎新婦への贈り物を持ち寄る。たいていの場合、全員に食事が振る舞われ、招待客全員が食事を終えた後に近親者と新郎新婦が食事を始める。披露宴の服装は自由であるが、ベンガルの伝統的な衣装を着る人が多い。ヒンズー教の場合、結婚式の前後に多くの行事や儀式がある。



(左上)ヒンズー教の結婚式 (右上)イスラム教の結婚式
(左下)キリスト教の結婚式 (右下)仏教の結婚式

披露宴

披露宴は、ほぼすべての宗教で結婚式後に行われる行事である。新郎側が手配する。会場を借りて新郎側の客が招かれ、新婦を家に迎える幸せを祝う。ヒンズー教の慣習では、披露宴はよりに盛大に催される。

■ 葬儀および葬儀後の儀式

Janaja、Kulkhani、Chollisha

Janajaはイスラム教徒の葬儀である。葬儀の4日後にKulkhaniという祭礼を行う。聖職者と親族、葬儀に列席し手伝ってくれた人全員を招待する。40日後、イスラム教徒とキリスト教徒はChollishaという儀式を行う。ここでも聖職者や近所の住民、親族、友人が招かれ、故人に祈りを捧げる。参列者に昼食や夕食が振る舞われる場合もあれば、軽食が用意されるだけの場合もある。

DahoとShotkar

ヒンズー教徒と仏教は、葬儀をDahoまたはAnteshti-kriyaあるいはShotkarと呼んでいる。ヒンズー教徒は死後13日目にSradhhoという祭礼を行う。葬儀の日から、故人の家族と近親者は精進料理を食べる習慣に従う。



Shongho-dan

仏教徒の家で死者が出ると死後に数回行われる祭礼である。1回目は Shotkar (葬儀) の7日目に行う。2回目は半年後、最後は1年後に行う。また家族の命日には毎年 Shongho-dan を行う。これは、仏教寺院に何かを寄付する儀式である。寄付は現金でも寺院で必要な物品でもよい。

■ 仏教徒とキリスト教徒回答者の調査結果

仏教徒とキリスト教徒はごく少数であるため、これらのコミュニティーで多くの回答者を探すことは極めて困難であった。

イベントの各種手配を業として行っている Mashiur Rahman Mishu 氏から得た関連情報によると、貸しホールのレンタル料は、都市部で1万～10万タカで、人が最も費用をかけるのは、Gaye Holud (結婚前の儀式) と結婚式である。舞台や照明器具、花を使った装飾にも多額の費用をかけている。ただし、より安価な選択肢もある。農村部の場合、こうした行事は新婦の自宅に屋外スペースがある場合は新婦の家で、そうでなければ人が集まりやすい地元の公共スペースで行われることが多い。その他、子どもや子どもの誕生に関連する行事は自宅で行うことが多いが、現在はより盛大に行うために費用が上昇する傾向にある。

最も費用がかかっているのは装身具である。インドの伝統では、金の装身具は結婚式で最も重要で価値の高い要素である。金の装身具は結婚式前後の行事でも使用される。誕生日や命名式、洗礼など特別な行事の際に、親や親族から装身具が子どもに贈られる場合がある。

■ 調査結果

ダッカおよび同市郊外で調査を行った。サンプル数は47人。回答者47人中、イスラム教徒が28人、ヒンズー教徒が14人、キリスト教徒が3人、仏教徒が2人であった。祭礼の大部分が宗教に基づくものであることから、回答者の選択にあたっては宗教を基準とした。

■ イスラム教徒の回答

イスラム教徒28家族のうち、都市部の5家族だけがすべての行事を定期的に行っている訳ではないと答えたが、他の回答者23家族は、主な祭礼のすべて実施していた。回答者のうち都市部は15家族、農村部は13家族であった。

■ 主な祭礼

ベビーシャワー、菓子の配布、命名式、誕生日、割礼、婚約式、Gaye Holud、結婚式、披露宴、結婚記念日、葬儀、Milad (4日目)、Kulkhani (40日目)、命日

■ ヒンズー教徒の回答

ヒンズー教徒14家族のうち、全回答者がすべての祭礼を定期的に行っていると回答しており、宗教上の慣習や儀式が現在も忠実に守られている。回答者のうち都市部は7家族、農村部は7家族であった。ただし、回答者は中産階級、上位中産階級に属している。

■ 主な祭礼

ベビーシャワー、命名式、Joggo-chondi、Annaprashan、誕生日、Haate-khori、Aiburo-bhaat、Ashirbaad、Gaye Holud、Mongolachoron、Dodhi Mongol、結婚式、披露宴、Jamai-shoshthi、葬式、Sraddho、Motsho-mukhi



【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。JETROでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETRO及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。